

平成16年度 特許セミナー

知的財産の基礎知識

(民法(第1回))

目 次

第1章 概説(第1回)

- I. 民法とは
- II. 財産法の仕組み

第2章 財産法(第2回、第3回、第4回)

- I. 財産法の全体像
- II. 主体
- III. 契約の成立から効力発生まで
- IV. 物権
- V. 債権の発生から消滅まで
- VI. 債権の効力
- VII. 債権の履行確保

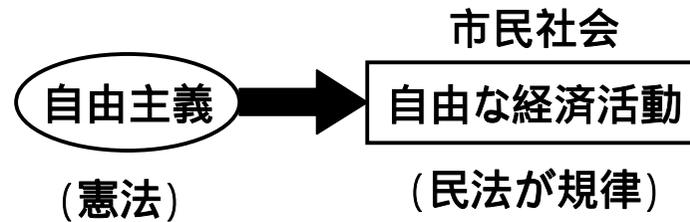
第3章 家族法(第5回)

- I. 親族
- II. 相続

第1章

I. 民法とは

- 「自由の思想に基づいた市民社会のルール」

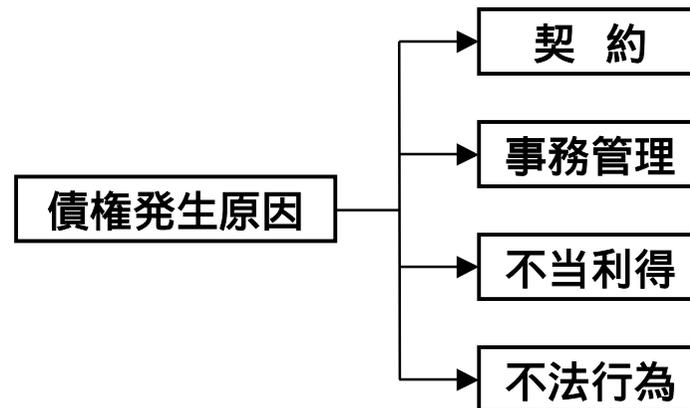


- 民法の役割
 - 私法と公法
 - 一般法と特別法
 - 「私的自治の補充的な役割」
 - 任意規定と強行規定
- 民法の考え方
 - 価値判断と法律構成
 - 原則と修正(必要性と許容性)

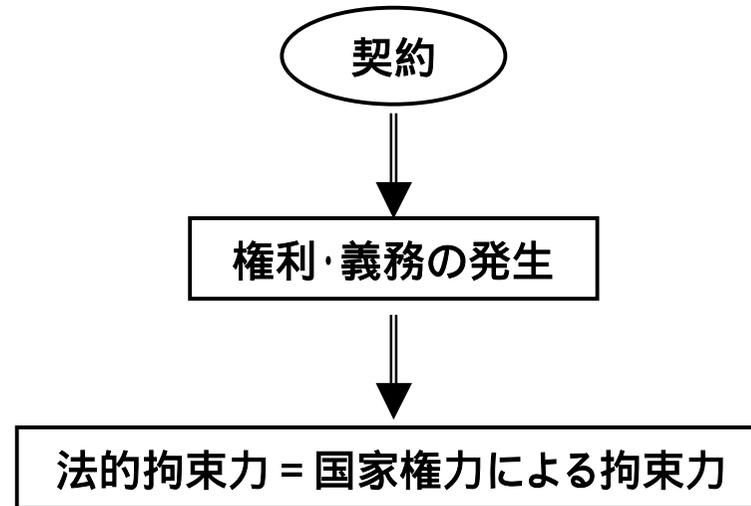
II. 財産法の仕組み

人と物との関係 ---- 物権

人と人との関係 ---- 債権



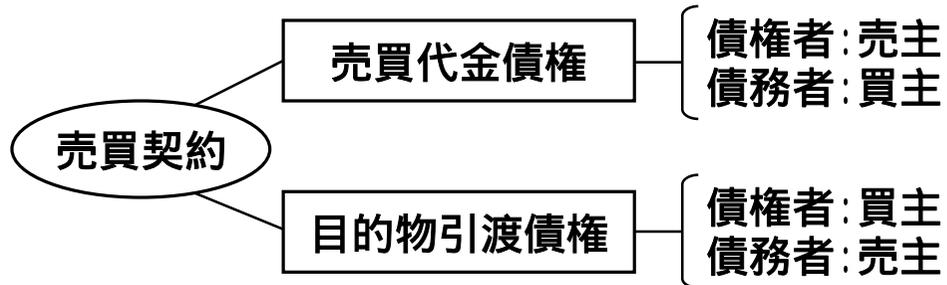
(1) 契約...法的な約束、強制力を伴った約束



債権(者)と債務(者)

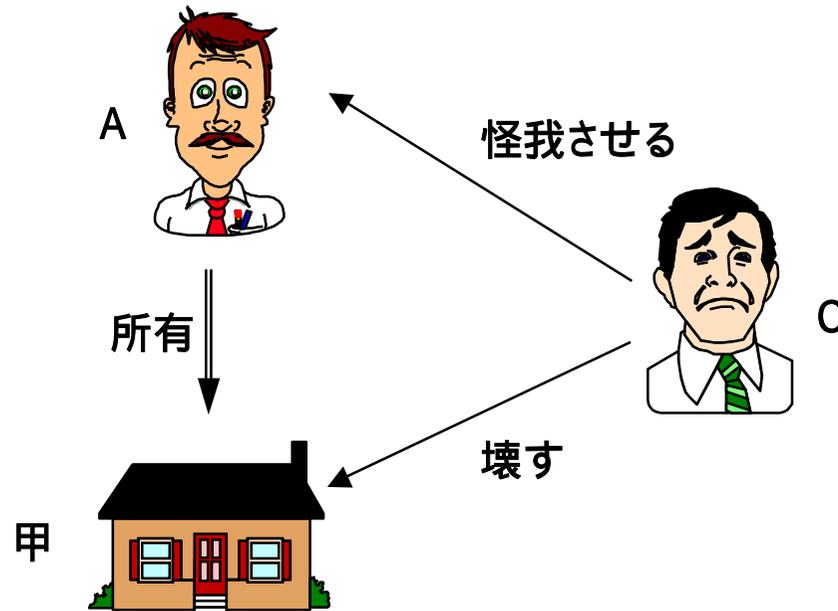
「債権」...特定の相手方にある一定の行為を要求する権利

「債務」...要求される側の負担、その人の負っている義務



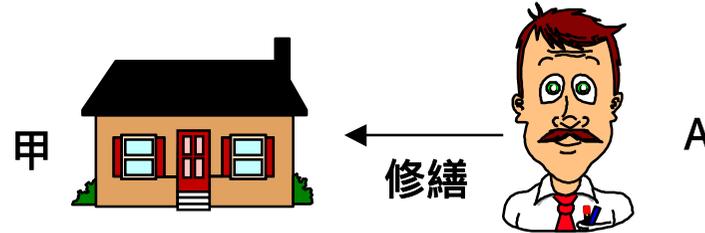
(2) 不法行為

§ 709...「故意又は過失に因りて他人の権利を侵害した者は、之により生じたる損害を賠償する責に任ず」



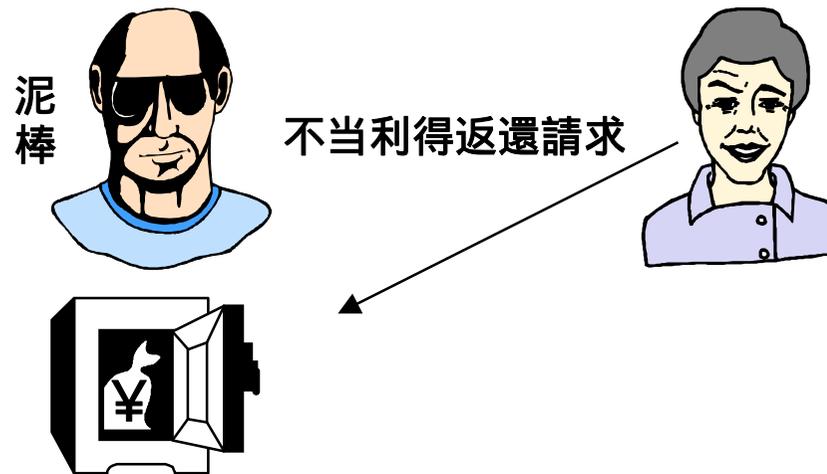
(3) 事務管理

義務のないのに他人のために事務の管理をすること(§ 697)

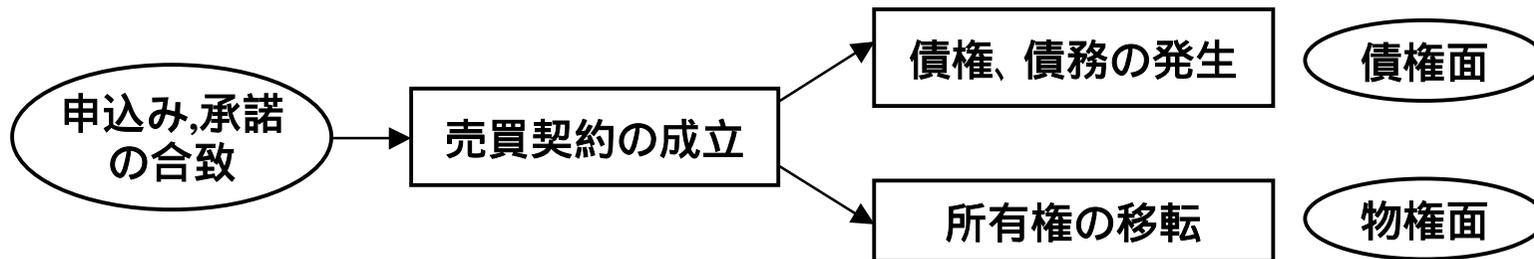
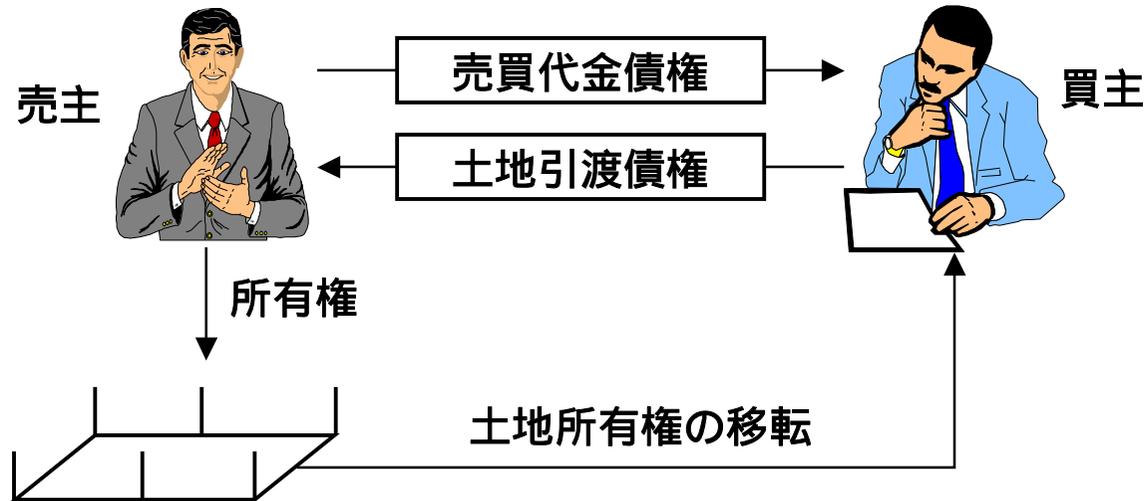


(4) 不当利得

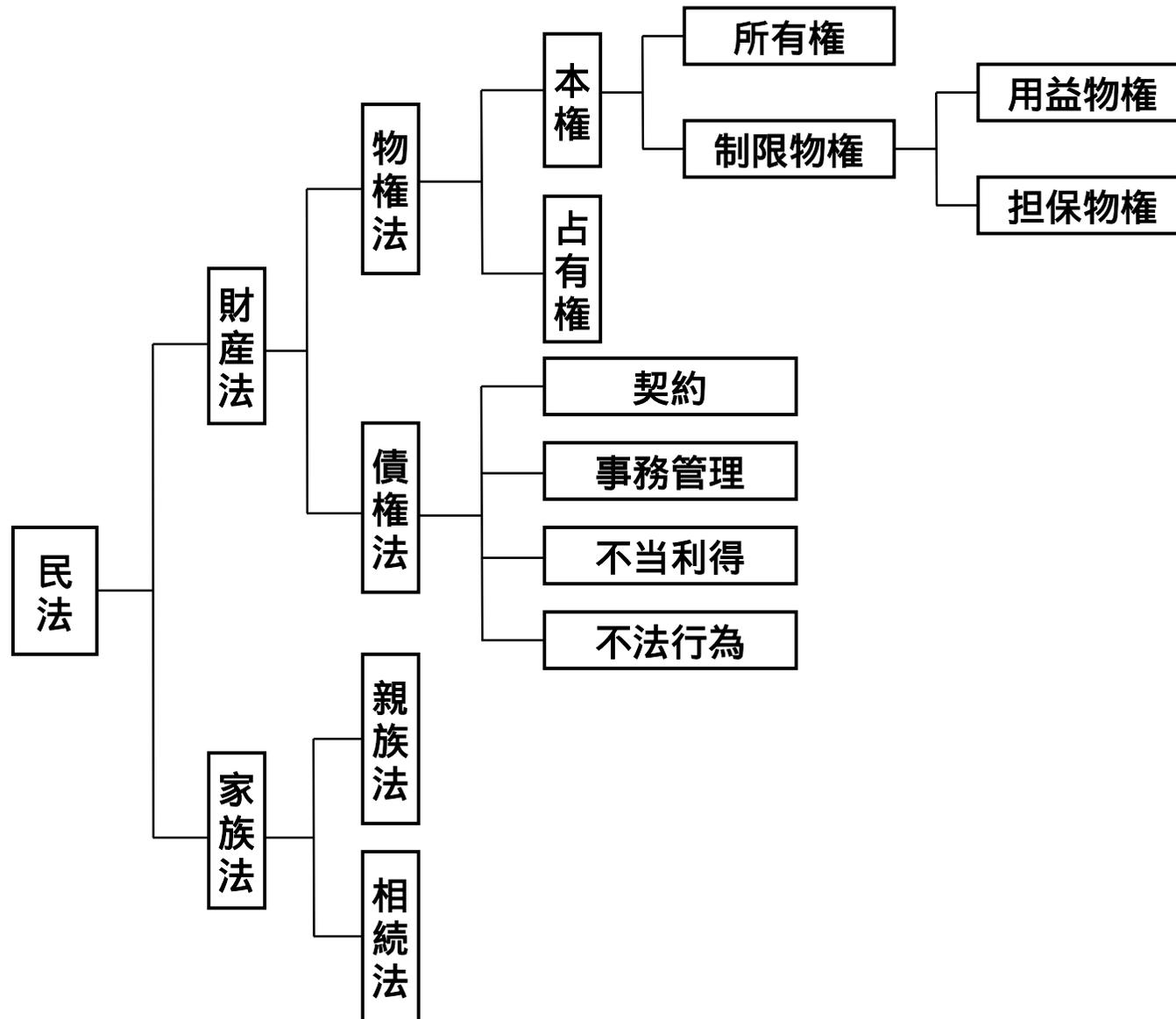
法律上正当な理由がないにもかかわらず、他人の財産、労務から利得を得て、その他人に損害を及ぼした場合のその利得(§ 703、 § 704)



物権法と債権法との関係



民法の全体図



テスト

1. 民法とは何か

- 自由主義思想に基づいた市民社会のルール
- 社会主義思想に基づいた国民社会のルール
- 資本主義思想に基づいた市民社会のルール
- 福祉主義思想に基づいた国民社会のルール

2. 民法とは関係のないものはどれか

- 彼女のために指輪を買った
- 彼女に指輪をプレゼントした
- 彼女と婚約した
- 結婚詐欺で逮捕された

3. あなたはA君からパソコンを買い受ける契約をした。
この時あなたがA君に対して主張するものはどれか。

代金支払い請求権

パソコンの引渡債務

不法行為に基づく損害賠償請求権

パソコンの引渡債権

4. 自動車の売買契約で正しいものはどれか。

自動車の引渡債権についての債権者は売主である。

自動車の引渡債権についての債務者は買主である。

代金債権についての債権者は買主である。

代金債務を負っているのは買主である。